



2026年7月31日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
14,880万kW
15時30分、148,802 MW
(10エリア同時刻合計)

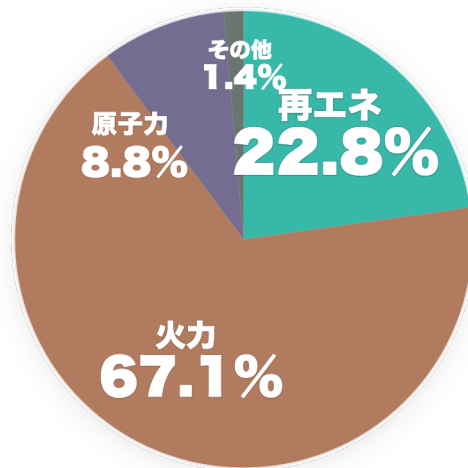
≈ 風力ピーク
103万kW
2時30分、1,031 MW

↔ 最大受電エリア
東京
126 GWh

☀ 太陽光ピーク
4,586万kW
11時30分、45,859 MW
(自家消費分除く)

◇ 再エネ最大需要比
39.9%
11時、需要に対する割合

↔ 最大送電エリア
東北
106 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 40.5%
33.0 GWh

揚水・蓄電の充電

51.6 GWh
発電構成比には含めない

出力抑制量

0.0 GWh
最大: 北海道 0.0 GWh

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差
多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、15:30に5,002万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで40.5%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	22.8%	発電電力量ベース
再エネ発電量	662 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	2,909 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	39.9%	11時
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電の充電	51.6 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	40.5%	33.0	0.0	送電 7.5
東北	26.4%	86.5	0.0	送電 106
東京	16.2%	138	0.0	受電 126
中部	27.5%	108	0.0	受電 51.9
北陸	30.9%	28.5	0.0	送電 7.3
関西	16.4%	74.1	0.0	受電 58.0
中国	27.5%	57.1	0.0	送電 9.2
四国	24.6%	32.6	0.0	送電 43.7
九州	29.7%	101	0.0	送電 41.6
沖縄	10.2%	3.3	0.0	—



2026年7月31日の供給実績

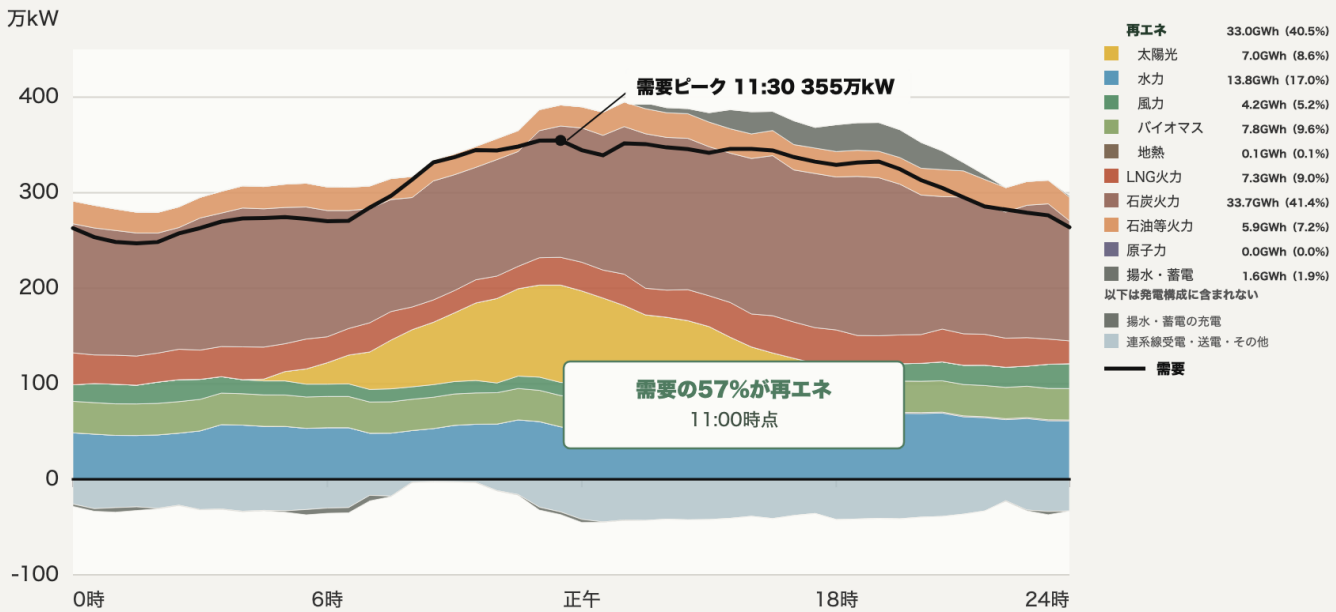
北海道エリア

再エネ

33.0GWh

(発電電力量ベース40.5%)

北海道エリア 2026年7月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

81.4GWh

需要ピーク

11:30、355万kW

連系線・その他

7.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク102万kW、風力ピーク26万kWで、時間別の再エネ最大需要比は57.3%だった。



2026年7月31日の供給実績

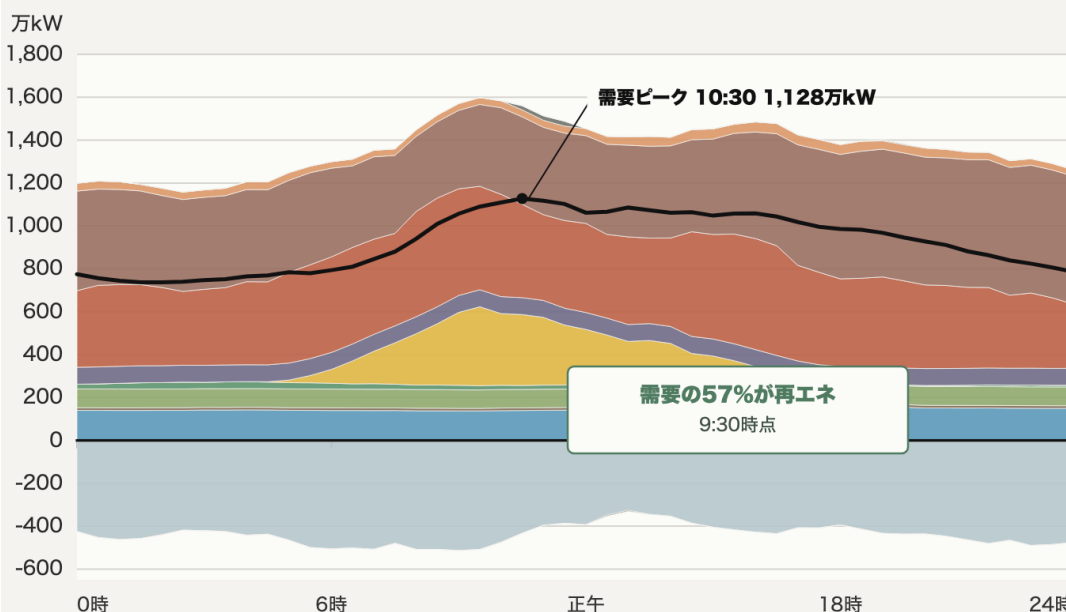
東北エリア

再エネ

86.5GWh

(発電電力量ベース26.4%)

東北エリア 2026年7月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

327.2GWh

需要ピーク

10:30、1,128万kW

連系線・その他

105.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.1GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク368万kW、風力ピーク32万kWで、時間別の再エネ最大需要比は57.2%だった。



2026年7月31日の供給実績

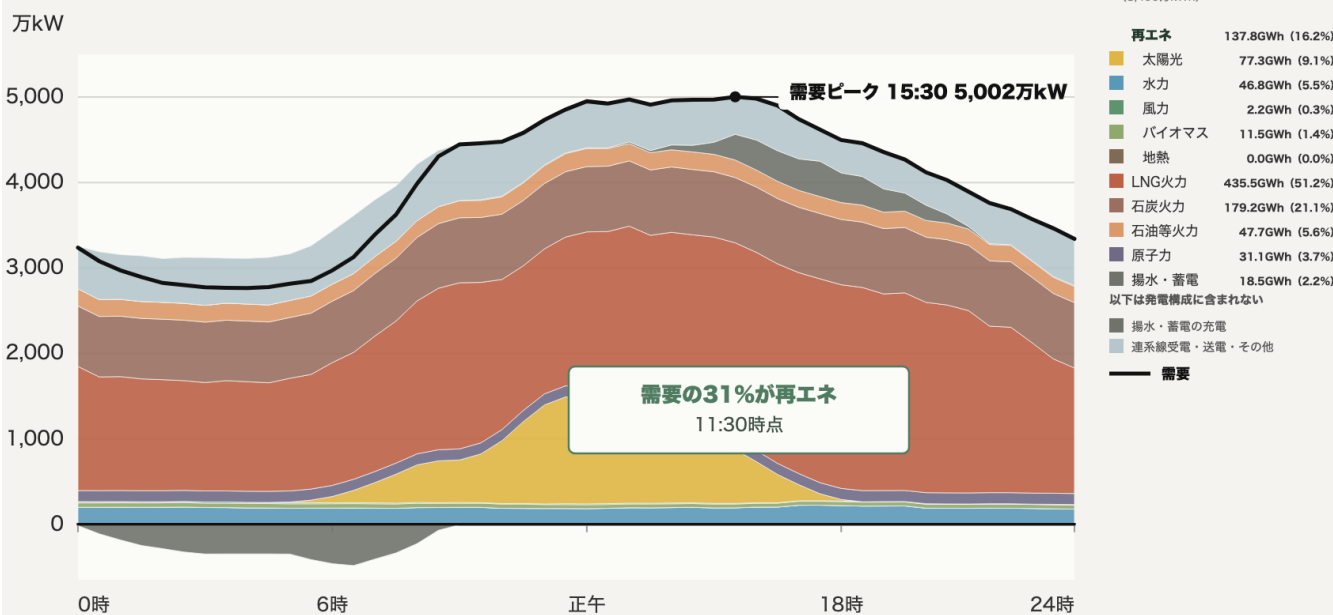
東京エリア

再エネ

137.8GWh

(発電電力量ベース16.2%)

東京エリア 2026年7月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

849.9GWh

需要ピーク

15:30、5,002万kW

連系線・その他

125.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電

26.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク1,250万kW、風力ピーク16万kWで、時間別の再エネ最大需要比は30.7%だった。



2026年7月31日の供給実績

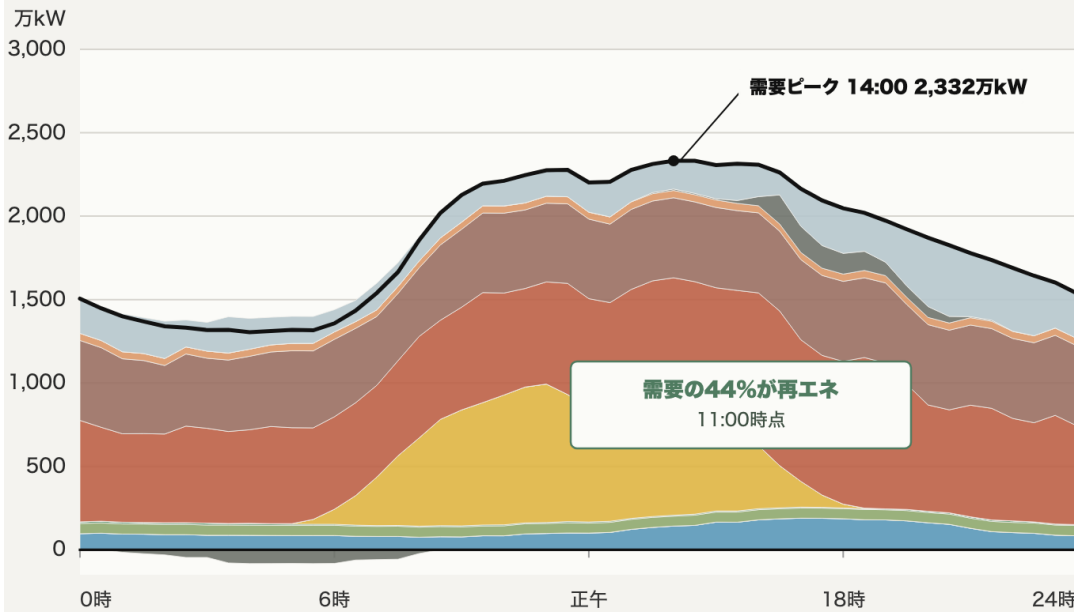
中部エリア

再エネ

108.1GWh

(発電電力量ベース27.5%)

中部エリア 2026年7月31日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 394GWh
(3,935万kW)

再エネ	108.1GWh (27.5%)
太陽光	64.0GWh (16.3%)
水力	27.9GWh (7.1%)
風力	1.7GWh (0.4%)
バイオマス	14.6GWh (3.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	158.3GWh (40.2%)
石炭火力	111.4GWh (28.3%)
石油等火力	10.3GWh (2.6%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	5.4GWh (1.4%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

393.5GWh

需要ピーク

14:00、2,332万kW

連系線・その他

51.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電

4.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク830万kW、風力ピーク11万kWで、時間別の再エネ最大需要比は43.7%だった。



2026年7月31日の供給実績

北陸エリア

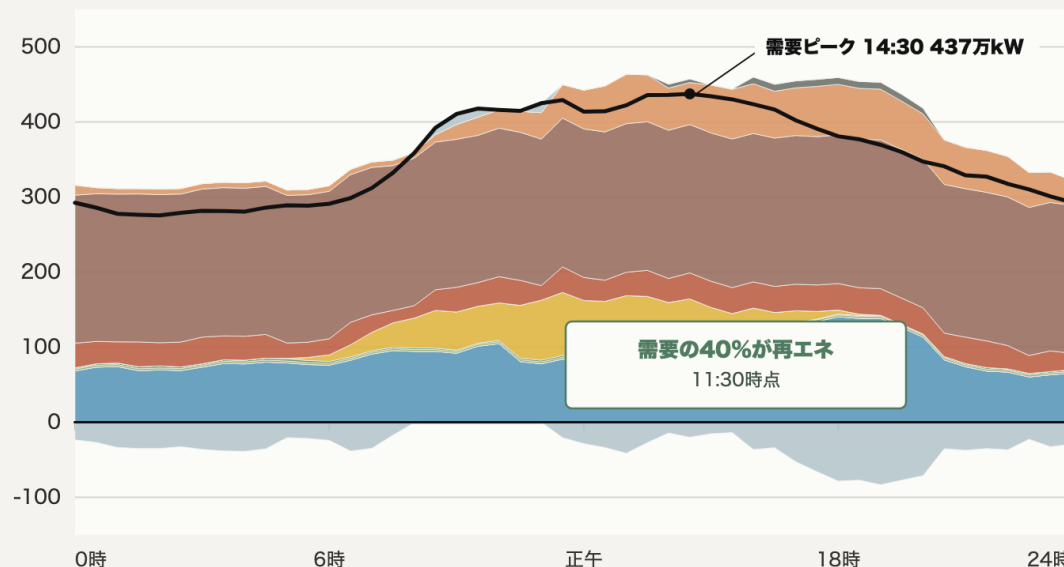
再エネ

28.5GWh

(発電電力量ベース30.9%)

北陸エリア 2026年7月31日の供給実績（残余需要方式）

万kW



発電構成比

総発電電力量: 92.3GWh
(923万kWh)

再エネ	28.5GWh (30.9%)
太陽光	6.1GWh (6.6%)
水力	21.4GWh (23.2%)
風力	0.5GWh (0.5%)
バイオマス	0.6GWh (0.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	7.3GWh (7.9%)
石炭火力	47.3GWh (51.3%)
石油等火力	8.7GWh (9.4%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	0.5GWh (0.5%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

92.3GWh

需要ピーク

14:30、437万kW

連系線・その他

7.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク84万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は40.3%だった。



2026年7月31日の供給実績

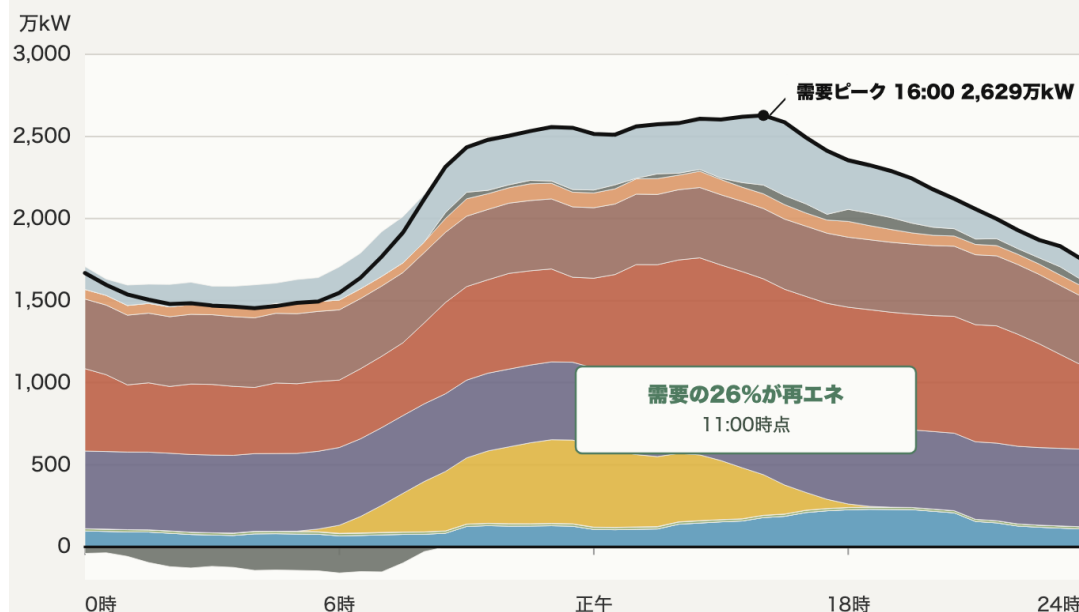
関西エリア

再エネ

74.1GWh

(発電電力量ベース16.4%)

関西エリア 2026年7月31日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 452GWh
(4,519万kW)

再エネ	74.1GWh (16.4%)
太陽光	39.9GWh (8.8%)
水力	30.8GWh (6.8%)
風力	0.3GWh (0.1%)
バイオマス	3.1GWh (0.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	138.6GWh (30.7%)
石炭火力	102.3GWh (22.6%)
石油等火力	18.0GWh (4.0%)
原子力	113.5GWh (25.1%)
揚水・蓄電	5.5GWh (1.2%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

451.9GWh

需要ピーク

16:00、2,629万kW

連系線・その他

58.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電

9.3GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク510万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は25.5%だった。



2026年7月31日の供給実績

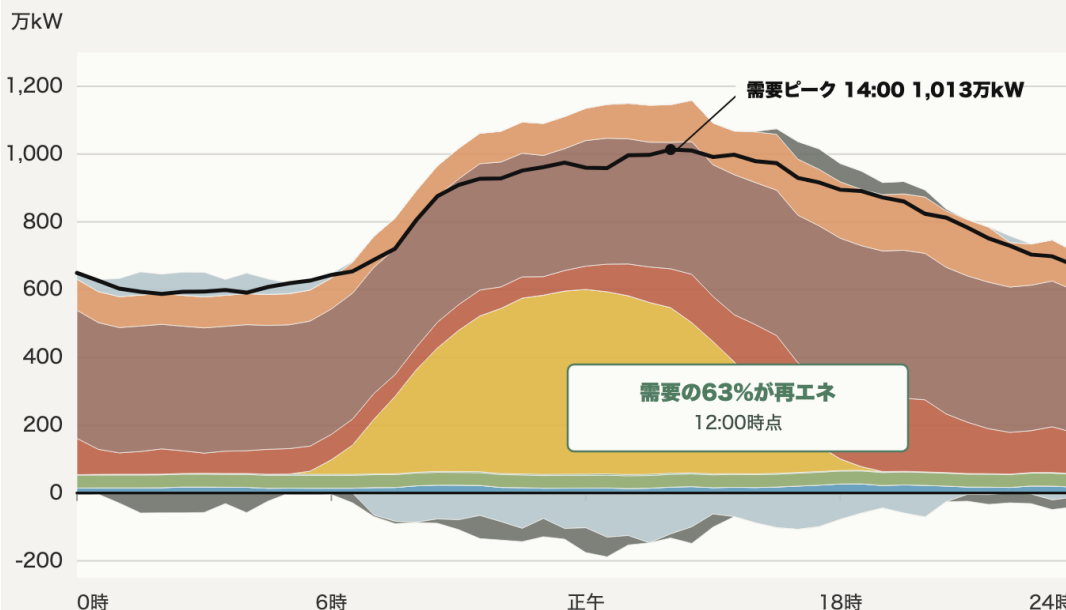
中国エリア

再エネ

57.1GWh

(発電電力量ベース27.5%)

中国エリア 2026年7月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

207.6GWh

需要ピーク

14:00、1,013万kW

連系線・その他

12.3GWhの送電

揚水・蓄電の充電

5.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク545万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は62.6%だった。



2026年7月31日の供給実績

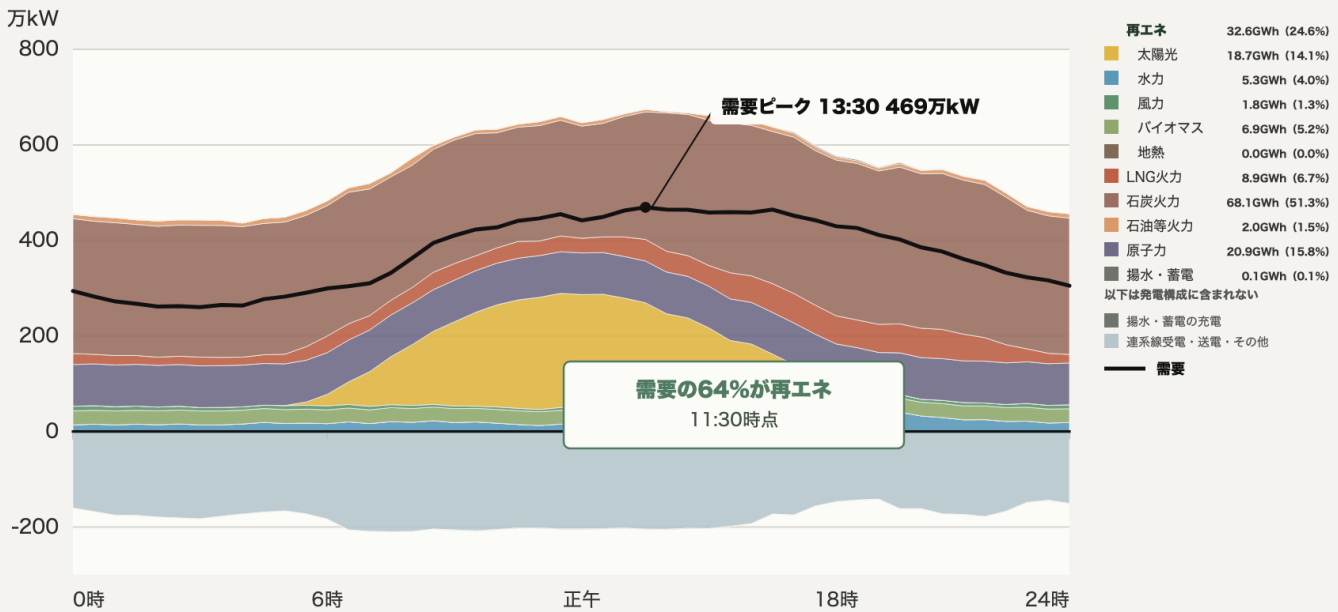
四国エリア

再エネ

32.6GWh

(発電電力量ベース24.6%)

四国エリア 2026年7月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

132.7GWh

需要ピーク

13:30、469万kW

連系線・その他

43.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク240万kW、風力ピーク10万kWで、時間別の再エネ最大需要比は64.9%だった。



2026年7月31日の供給実績

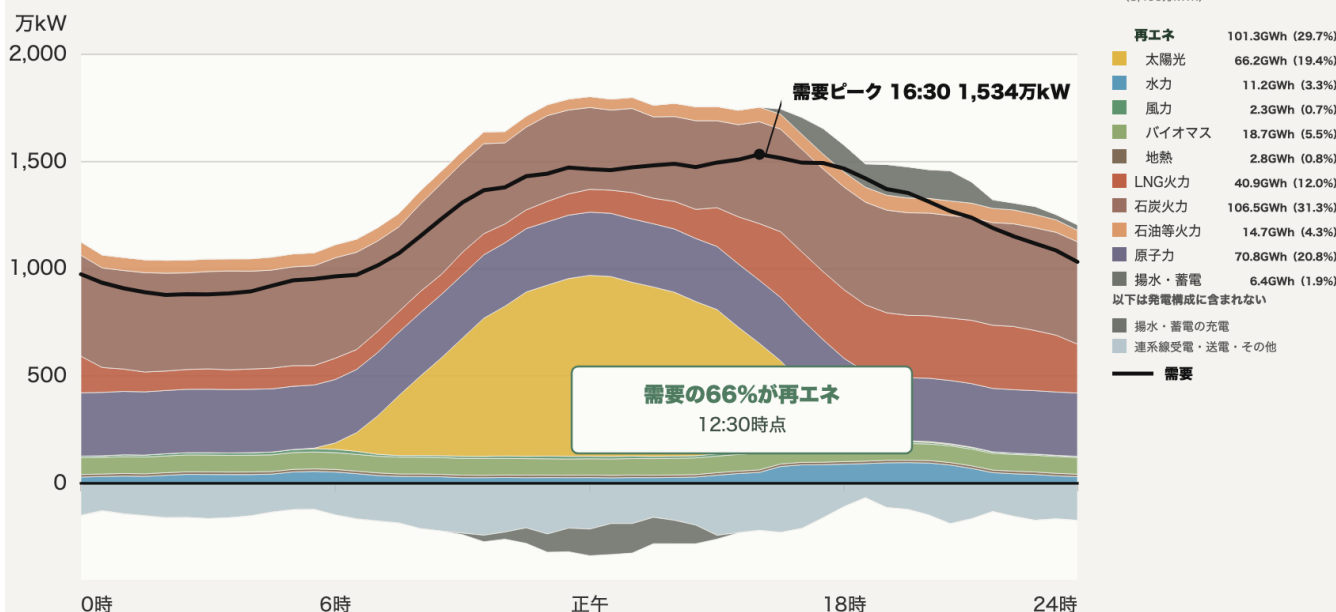
九州エリア

再エネ

101.3GWh

(発電電力量ベース29.7%)

九州エリア 2026年7月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

340.5GWh

需要ピーク

16:30、1,534万kW

連系線・その他

41.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電

5.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク844万kW、風力ピーク15万kWで、時間別の再エネ最大需要比は66.2%だった。



2026年7月31日の供給実績

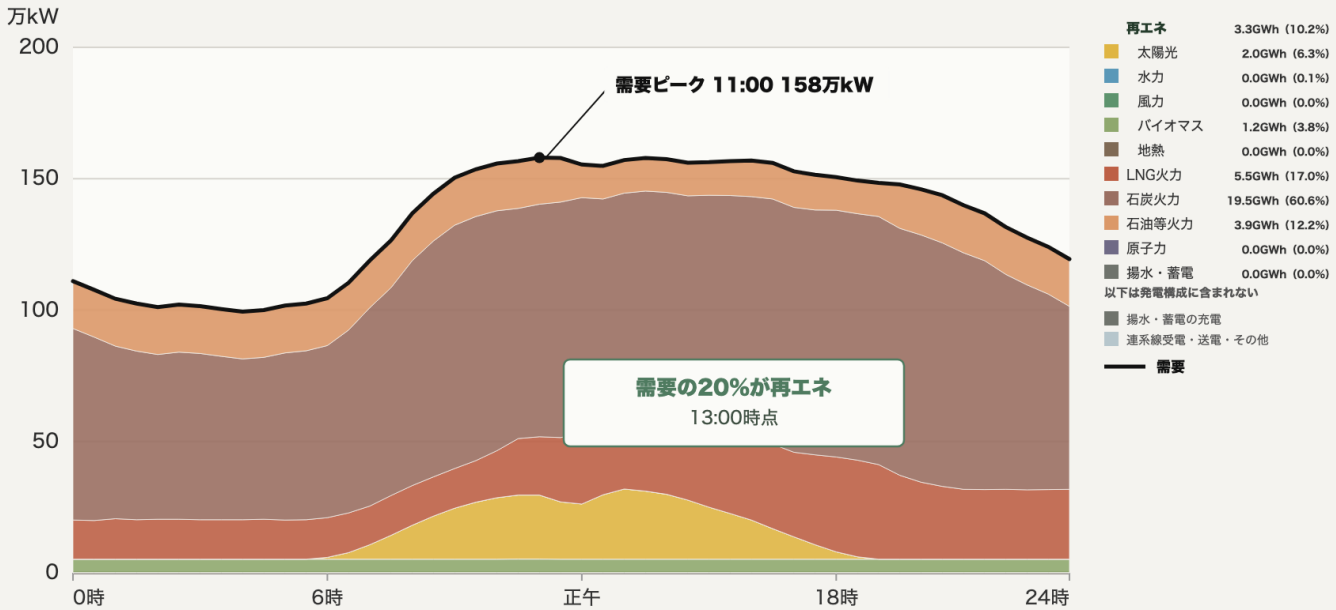
沖縄エリア

再エネ

3.3GWh

(発電電力量ベース10.2%)

沖縄エリア 2026年7月31日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年7月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

32.2GWh

需要ピーク

11:00、158万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク27万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は20.3%だった。